エンタメ

今、一番清純な場所で

世界舞台に放つ異彩

俳優・監督の桃井かおり

映画「火 Hee」の一場面

「日本映画界きっての個性派俳優」という称号では、もはや収まりきらない。世界を舞台に俳優・監督として活躍する桃井かおり。2月のベルリン国際映画祭では監督・主演作「火 Hee」と、出演したドイツ映画「フクシマ・モナムール」の2作が出品され注目の的に。50代半ばで米国に拠点を移して約10年、その活動は独自の〝モモイ流〟が貫かれる。

撮影は自宅で

「映画を最後まで楽しんでくださいね。途中で外には出られません。私がドアの前に立っていますから」。ベルリン映画祭の「火」上映前の舞台あいさつ。がユーモアたっぷりに英語で話すと、会場から大きな笑いと拍手が湧き起こった。

「火」は芥川賞作家中村文則の短編小説が原作で、火に異常な執着を持つ女（桃井）が精神科医に壮絶な人生を告白する内容だ。10日間の撮影は主にロサンゼルスの自宅で行った。「登場する犬も椅子もシーツも全部うちの。『桃井かおり』のキャスティングは私が監督だからね」と安あがりだし」

ほぼ全編にわたり桃井の語りで構成される映画は、革新的な作品を集めた「フォーラム部門」の中でも異彩を放った。2006年の「無花果（いちじく）の顔」で監督デビューし、今回は2作目。「ずっと最前線の監督たちと仕事をしてきたでしょ。彼らが残したものが私の中にあるから映画作りで困ることはなかった。重要なのは実験と冒険。安全な映画を作ることじゃない」

引退のつもりが

05年のハリウッド映画「SAYURI」への出演を機に、ロサンゼルスに生活拠点を移した桃井。東日本大震災後の福島が舞台のドイツ映画「フクシマ」では仮設住宅で暮らす芸者を演じ、今後もラトビアの監督による主演映画「マジック・キモノ」や、メキシコ映画などの公開が続く。

「本当はロスでひそかに役者を引退し、フェードアウトだなって考えていた」。だが「無花果の顔」がベルリン映画祭で最優秀アジア映画賞に輝くと、各国の映画祭に審査員で招かれるようになった。

「各地で将来有望な若い監督に会うわけですよ。彼らがメジャー映画を撮るころに私は死んじゃってるだろうから、今一緒にやりたい！と」

お金のない若手の作品には無償で参加するなど、この約10年は世界を股に掛けて撮影現場に駆け付ける。「人生の後半ってどうなるか分からないなあと思って」と桃井。

「今は何の作戦も計算もなく、プレゼンテーションしたい自分もいない。大変でも、持ち出しでもかまわないから、いい監督とやりたい。俳優としては、デビュー当初にATG（日本アート・シアター・ギルド）の映画に出ていたときのような、一番清純なところに立っていると思うんです」

映画「フクシマ・モナムール」の一場面（©Hano Lentz/Majestic）

10分の時短メーク

キレイのとびら ⑬

できれば手を抜かず、メークはきれいに仕上げたい。でも、何かと忙しくて時間がない。そんなあなたにお薦めなのが「時短ナチュラルメーク術」。約10分の簡単メークで1日を明るく、楽しく過ごしませんか。

短時間で効率よく仕上げるには、ポイントを絞る必要があります。ここでは「肌、眉、頬」の3点をケアしましょう。

まずは肌づくりから。時短メークで心強い味方となるのは、BBクリームです。これ一つで化粧下地、日焼け止め、ファンデーションの役割を果たしてくれる優れものです。カバー力が強いので、薄く付けるだけで透明感のある自然な肌に近づきますよ。

パール粒1個分を手に取り、両頬、額、鼻筋、顎の5点に置いてから、スポンジやブラシを使って顔全体になじませます。

「肌、眉、頬」を重視して仕上げた時短メーク

わたしと今とツナガル世界 2

吉田峻

限界集落で楽しく暮らす

トラクターに乗って、田起こしをする吉田峻さん＝2015年、広島市

僕は今、23歳で農業をしながら築150年の空き家を借り、限界集落と呼ばれる広島の山村で暮らしています。集落の人口は100人足らずで、平均年齢は70歳を超えています。

なぜここに住んでいるのか。それは学生時代に出合い、とても好きになってしまったからです。

大学3年のとき、「こういう過疎の地域があるよ」と聞き、サークルの仲間と一緒に「僕たちで盛り上げよう」と。民家に泊めてもらい、交流する企画を立てたんです。

不安を抱きつつ向かうと「よお来たのぉ。こんなに若い人がよしだ・しゅん　1992年広島市生まれ。同市佐伯区湯来町に居住。農業をしながらイベントなどに出て、田舎暮らしの良さを伝える「田舎タレント」として活動中。

来たのは何十年ぶりじゃわい。うれしいのぉ」と快く受け入れてくれました。心の温かさに感動し、人を思いやる大切さを教わりました。地域と同じような格好をして面接で言います。

この企画から少しして、就職活動が本格化しました。学生は社に？」という問いに答える自信がなかったのです。

うそで答えることはできても、したくありませんでした。偽りの自分をつくる第一歩と感じて怖くなり、自分に正直に生きたいと思いました。僕は就活はせず、卒業と同時に限界集落へ移住することを決意したのです。

地域の内側から発信することで、多くの人に田舎暮らしの良さを知ってもらえれば…。地域の農業の担い手となりながら新たな仕事を生み、若者が安心して暮らせる仕組みを作る必要があると考えています。一人でも多くの人が興味を持ってくれるとうれしいなぁ。

（田舎タレント）

サークルの交流は今も続いています。「御社で働きたいです」と。僕はどうしてもこの一言が言えなかった。「なぜ、うちの

演歌歌手の大江裕

「いろんなことにチャレンジしながら、楽しくやっていくのが一番」と豪快な笑顔で語るのは演歌歌手の大江裕。2014年の「こころ雨」まで〝おんな歌〟に力を入れており、新境地を開拓している。

おんな歌への挑戦は、師匠である北島三郎の妻からの提案だった。「これまで元気いっぱいの曲が多くて、しっとりとした歌を歌い上げるのは難しかったが、今では楽に歌

くりやま・いとい　1976年長崎市生まれ。大阪大学院、首都大学東京大学院修了。「コムデギャルソン」背景にあるのは、昨 ヒールを履くには気合今の「がんばりすぎな がいる。 でも、おしゃれとは がかっこいい」と

世界ふしぎ発見！
RSK＝後9・0